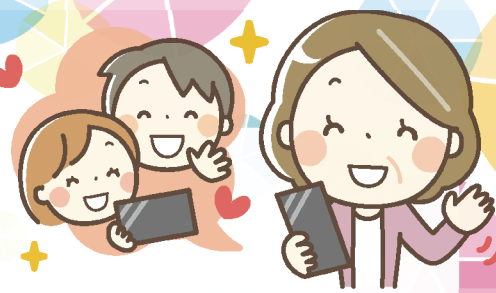


Inkar -インカラ- vol.19

テレビ電話 お見舞いサービスのご案内



新型コロナウイルス感染症予防対策に伴う、面会制限にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。当院ではこの度、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う面会制限が続いている現状の代替案として、通信機器を用いたお見舞いサービスを開始致しました。サービスのご利用を希望される方は、以下についてご確認のうえ、お申し込みください。



サービス利用の流れ

- ・予約制となります。ご希望の前日までに、電話にてお申し込みください。
- ・予約時間の5分前までに正面玄関へご来院ください。
- ・入院患者様、病棟へ確認後、準備ができ次第ご利用いただけます。



サービス利用可能日時

- ・平日のみ 月～金曜日
- ・時間：13:30 ～ 16:30



ご利用にあたって

- ・1回の利用時間は15分以内でお願いします。
- ・当日は正面入り口での検温にご協力ください。発熱（37.5℃以上）が認められる方はご利用いただけません。
- ・当院にて用意した通信機器を利用します。
- ・機器操作のため、職員が同席させていただきます。
- ・一度の面会は2名までとなります。大人数での来院はご遠慮ください。
- ・患者様の当日の体調により、面会いただけない場合がございます。ご了承ください



申し込み方法

- ・平日（月～金曜日）の9:00～16:30の間にお電話（0146-42-0701）ください。
- ・お電話の際に、『テレビ電話でのお見舞い申し込み希望』とお伝えください。

- TOPICS -

院長の独り言
ひまわりの絆プロジェクトに参加しました
小児科待合いコーナーが充実しました
テレビ電話お見舞いサービスのご案内



 医療法人 徳洲会 日高徳洲会病院

〒056-0005 北海道日高郡新ひだか町静内こうせい町1丁目10番27号

☎ 0146-42-0701

院長の独り言

新しい生活様式の大切さ

WHOの7月6日時点のまとめによりますと、現在、臨床試験に入っている新型コロナウイルス ワクチン候補は21種類で、ほかに139種類が前臨床段階で開発中です。

ワクチンには、病気を発症しない程度に弱らせたウイルスを使う「生ワクチン」と、ウイルスを無毒化して使う「不活化ワクチン」があります。



この他に最近注目されていますのが、ウイルス丸ごとではなく、ウイルスが持っている設計図（遺伝情報）を使う「遺伝子ワクチン」です。安全性の問題は少なく、大腸菌を使って大量生産ができますが、未だ実用化されたことがありません。

日本でもmRNAワクチンの開発が始まっています。ワクチンの有効性は発症予防効果でみます。多数の人に、ワクチンとワクチンの偽物（プラセボという）を投与して、ワクチンによりどのくらいの率で発症が予防できたかを調べます。はしかでは90%以上ですが、季節性インフルエンザでは65%程度です。新型コロナウイルスワクチンでも、それほど高い予防効果は出ないことが予測されています。もうひとつ重要なのは、ウイルスに対する抗体ができて、それがどのくらい持続するのかという点です。

どの「専門家」も共通して述べているのは新型コロナウイルスの終生免疫を獲得することはできないのではないかとことです。その理由は、第一に、新型以外のコロナウイルスが感染を繰り返すという点です。コロナウイルスは風邪の病原体のひとつですが、同じ年に再感染することもあります。ですから、新型コロナウイルスも繰り返し感染をする可能性があると考えられています。第二に、新型コロナウイルスの抗体を獲得できたとしてもその持続期間が短いのではないかとことです。2002年から流行したコロナウイルスの一種のSARSは、

免疫持続期間は平均して約3年でした。新型コロナウイルスの免疫期間はもっと短いという報告があります。抗体ができて、2、3ヶ月で消えてしまうという恐ろしい研究結果もあります。新型コロナウイルスによってどのような免疫機能が獲得できるかはまだまだ研究段階です。差し当たりは、地球人全員が、「新しい生活様式」を遵守することが、最も大事なことだと考えます。



自分のために、大切な人のために。

守ろう!! ソーシャルディスタンス

← 2m →

感染防止のため、ご協力をお願いします。



ひまわりの絆プロジェクトに参加しました

命の大切さ、交通事故防止を全国に

6月23日、高静小学校の児童8名が当院に来院し、病院正面花壇へヒマワリの苗を植えました。これは『ひまわりの絆プロジェクト』によるもので、当院も静内警察署様よりお声掛けいただき参加致しました。

『ひまわりの絆プロジェクト』とは、平成23年に交通事故で亡くなった当時4歳の児童が、生前に大事に育てていたひまわりの種を遺族から警察官が受け取り、京都府亀岡警察署の花壇に植え付けたところ大輪を咲かせたことから、全国でそのひまわりを咲かせ、交通安全と命の大切さを訴えていくプロジェクトです。



苗を植える際に、静内警察署の方から当プロジェクトについて説明があり、児童の皆さんが真剣に聞いていた姿がとても印象的でした。この

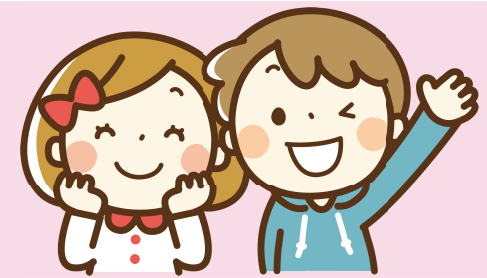
ひまわりがすくすくと育ち、大輪の花を咲かせることで地域の皆様が命の大切さ、交通事故の防止について今まで以上に考えてくれることを願います。



小児科待合いコーナーが充実しました

新型コロナウイルス等への感染対策により、待合椅子の間隔確保や仕切り板の設置など、外来患者さまには色々とお不便をお掛けしています。そのような中で、小児科の患者さまにもう少しゆったりと待っていただけるように小児科待合いコーナーを充実させました。入口や壁面には動物のイラストを散りばめ、お子さま用にキッズコーナーも設置しています。

新型コロナウイルスの感染は収まる気配がなくまだまだ油断できない状況が続いています。当院におきましては、しっかりと感染対策を行い、安



心安全な医療を提供しながらも患者さまにとって、できる限り快適に過ごしていただくことができるよう、今後も様々な角度から見直しを図ってまいります。また、院内には『みなさまの声』という投書ポストも設けておりますので、気になる点や要望がございましたら、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

